

キャラクター名 フラワリー・エンフィールド	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	モルフェウス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	高校生
	モルフェウス			性別	女
オプション		年齢			
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31 %
出自	冬眠	経験	研究機関	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	1	0			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
白銀明日香	P 庇護	N 不快感			
緑ヶ丘蝶々	P 信頼	N 偏愛			
留不ゆみあ	P 親近感	N 不安			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー			自動		
効果: 威力 Lv+4								
カスタマイズ	2	2	メジャー			対決		
効果: +Lv個ダイス追加								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー			-		
効果: C値-Lv								
クリスタライズ	3	4	メジャー			対決	100	
効果: +Lv*3								
砂の加護	3	3	オート		単体	自動		
効果: +Lv個ダイス追加								
錬成の掟	1	4	オート			自動	ピュア	
効果: 威力+5								
	★	3						
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

イギリスのソールズベリー、ストーンヘンジの地下で休眠状態にあったところを十代の少女が発見された、協力型レネゲイドビーイング。宿主である少女と共存状態にあるが、どちらかというRB側が意志や態度が強くて人間側の意識が弱い。着ている服はRB側の趣味。オーヴァードに関する知識含め、記憶の共有は互いに100%行われる。人間が発明した銃火器に強い興味を示し、能力で創り出すものも銃火器に傾倒している。一応、ナイフやら髪飾りやらを生み出せないことはないが、どれも形だけで実用に乗るほど機能的ではない。一時期は研究所でRBとして研究されていたが、UGNに敵対する意思がないということでエージェントとして日常に帰還することが出来た。学校生活は少女に一任しているが、オーヴァード関係の匂いを嗅ぎつけるとフラワリーが人格を支配して戦闘する。植物起源のRBであり、起源を呼び起こせば体から枝や葉、花が生える。フラワリーはかなり攻撃的だが、そこは植物由来である。一度守ると決めたものは徹底的に守るが……その手段は身を挺するのではなく、危害を加える前に殲滅することであろう。好きなものは漫画。少女と共存しているのはフラワリーが彼女のマンガに興味を持ち、それについて少女が自分以上に「語れる」と認識したから。裏は表のことを「お花ちゃん」と呼んでいる

表
自分を『一般人』であると認識している人間。RBに寄生された時点で肉体もオーヴァード化しているが、戦闘能力は皆無でリザレクトもワーディングも發動できない。しかし『一般人』であるという自己認識から逸脱するため無意識で自分の能力に鍵をかけているだけで、イージーエフェクト程度なら使えるのではないかと目される。自己評価は低く腰も頭も低い。得意なことは自虐と自分で言ってしまうくらいに自信がないし、大きな問題を解決するのは自分ではなく他人であると考えている。……が、それはあくまで平常時であり、侵食率が上がるにつれて『困っている人間を救う』『誰かを幸せにする』『誰かを幸せにする』という強い信念が開花する。昔は情性で人生を過ごし、物事に積極的にかわりたくはない傍観者体質だった。だが、RBに寄生され研究の過程で他人の痛みや苦しみを押し付けられ続けただことで一度精神が崩壊し、自分で再構築したため既に一般人からは逸脱した精神を持つ。痛みや危険を共有し、同じステージに立つことでしか相手に自分の言葉は届かないという信条となり、一切戦闘能力がなくとも戦場に立ち対話しようとする。『一般人』に拘る通り感性自体は一般人と同程度で、思考回路が歪なだけ。基本的にはまっすぐ愚直に、回り道もなく正面切って相手にぶつかろうとする。「マンガの登場人物に読者の声は届かない。届けるためには私自身がその舞台に立つしかないんです。どんなに危険でも」